

第 7 3 回



国民体育大会 関東ブロック大会

山岳競技

平成30年7月28日(土)・29日(日)

鉾田市／鉾田総合公園体育館

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

2019

いきいき茨城ゆめ国体

第74回国民体育大会
The 74th National Sports Festival

2019 9/28^土～10/8^日

公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、茨城県(主催)、公益財団法人日本スポーツ協会茨城加盟団体及び各競技連盟が主催・共催します。

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

2019

いきいき茨城ゆめ大会

第19回全国障害者スポーツ大会
The 19th National Sports Festival for People with an Impairment

2019 10/12^土～10/14^日

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、文部科学省、茨城県、水戸市、日立市、鉾田市、常陸大宮市、取手市、つくば市、ひたちなか市

茨城県では、2019年に第74回国民体育大会『いきいき茨城ゆめ国体』、第19回全国障害者スポーツ大会『いきいき茨城ゆめ大会』が開催されます。

この事業は、競輪の
補助を受けて実施します。

競輪の補助事業



- 主催 公益財団法人日本スポーツ協会／茨城県
関東ブロック各県教育委員会
(栃木・千葉・山梨)
群馬県・埼玉県・東京都・神奈川県
関東ブロック各都県体育(スポーツ)協会
関東地区山岳連盟
鉾田市
- 主管 茨城県教育委員会
公益財団法人茨城県体育協会
茨城県山岳連盟
鉾田市教育委員会
鉾田市体育協会
- 後援 スポーツ庁

目 次

あいさつ	1
第73回国民体育大会関東ブロック大会 茨城県実行委員会 会長 大井川 和彦	
公益財団法人 日本スポーツ協会 会長 伊藤 雅俊	
第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技実行委員会会長	
関東地区山岳連盟会長（茨城県山岳連盟会長） 二階堂 章信	
歓迎のことば	4
茨城県議会議長 山岡 恒夫	
鉾田市市長 岸田 一夫	
第73回国民体育大会関東ブロック大会 競技日程・競技会場	6
第73回国民体育大会関東ブロック大会 競技会場マップ	7
大会役員	8
競技会役員・競技役員	12
開始式・表彰式	15
第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技実施要項	16
平成25年度からの国体山岳競技ブロック大会における種別総合順位決定方法	19
第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技実施要領	21
第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技進行表	24
種別スタート順	26
交通のご案内	27
監督・選手名簿	28
山岳競技会場配置図	30

あいさつ



第73回国民体育大会関東ブロック大会 茨城県実行委員会 会長 大井川 和彦

関東各都県を代表する選手・監督並びに関係者の皆様をお迎えし、第73回福井国体の関東ブロック大会が茨城県で開催されますことは、誠に喜ばしく、皆様を心より歓迎申し上げます。

本県では、来年、国内最大のスポーツの祭典である第74回国民体育大会並びに第19回全国障害者スポーツ大会が開催されることになっており、両大会に向け、選手の皆様が最高の状態で戦える環境づくりはもちろん、全国から参加される皆様にも十分楽しんでいただけるよう、県民総参加による大会を目指して、関係者一丸となって準備を進めております。

今回のブロック大会では、本国体への出場権をかけ、県内29市町村で32競技が実施されます。関東ブロックは強豪ひしめく激戦地区であり、どの競技においても、大変レベルの高い、白熱した戦いが期待されております。

選手の皆様には、本国体への代表権獲得を目指して、日頃の練習の成果を存分に発揮されることを心より願っております。

また、是非この機会に、茨城県の豊かな自然や歴史、文化など、多彩な魅力に触れていただき、再びご来県いただけることを楽しみにお待ちしております。

結びに、本大会の開催にあたり、御尽力をいただきました関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、大会の成功と選手皆様の益々の御活躍を祈念申し上げ、あいさついたします。

あいさつ



公益財団法人 日本スポーツ協会
会長 伊藤 雅俊

第73回国民体育大会関東ブロック大会が、茨城県水戸市を中心とした各会場において盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

この大会は、スポーツによる交流を通して参加各都県の友好と親睦を深めるとともに、地域スポーツの推進と地方文化の発展に寄与することを目的に開催され、併せて本年度開催いたします第73回国民体育大会及び第74回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会における関東ブロックの代表を決定する極めて重要な大会であります。

各都県の厳しい予選を勝ち抜き参加された選手の皆さんにおかれましては、フェアプレー精神のもと、支えてくださった方への感謝の気持ちを胸に、日頃の鍛練の成果を十分に発揮し、選手相互の交流の輪を広げ、実り多い大会とされることを期待いたします。

終わりに、大会の開催にあたり、万全な諸準備に尽力された茨城県をはじめ、関係各位のご支援ご協力に心より感謝申し上げます、併せて大会の成功を祈念いたしまして、ごあいさついたします。

あいさつ



第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技実行委員会会長
関東地区山岳連盟会長（茨城県山岳連盟会長） 二階堂 章信

スポーツの祭典「国民体育大会」も73回目となり、今年は福井県で開催されます。その関東地区の予選会である関東ブロック大会山岳競技に、関東各都県の精鋭アスリートが一堂に会し、銚田市銚田総合公園体育館で開催されることになりました。

第63回国民体育大会で自然の山を離れクライミングのみの競技となって以来約10年、「山岳競技」という呼び方もこの大会が最後となり、来年の国体からは「スポーツクライミング」となって、これまで通りのリード競技とボルダリング競技で競われ、名実ともに一致した競技となって実施されます。

リードもボルダリングも関東地区はレベルの高いブロックであり、大会を通過し代表となった都県は必ず本国体で活躍し上位入賞を果たしています。ここ数年、全国各地の都市部にはクライミングジムが数多く設置されて、底辺の拡大は著しいものがありますが、それでも関東地区は次々と高い技術を持った選手が現れて、選手層の厚さとその技術の高さには目を見張るものがあります。

各都県の予選会を突破して参加される選手の皆さんには、友好と親睦を深めると共に、日頃の練習の成果を存分に発揮され、福井国体への出場を目指してベストを尽くされることを期待しております。

最後になりますが、本大会の開催に当たりご支援、ご協力賜りました茨城県、茨城県教育委員会、公益財団法人茨城県体育協会、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会、銚田市、銚田市教育委員会並びに関東地区山岳連盟の皆様、大会準備運営に当たられた皆様に厚く御礼を申し上げ、本大会の成功を祈念いたします。

歓迎のことば



茨城県議会議長 山岡 恒夫

各都県において厳しい予選を勝ち抜き代表となられた6千有余名の選手及び本部役員の皆様をお迎えし、第73回国民体育大会関東ブロック大会が盛大に開催されますことは、誠に喜ばしいことであり、心から歓迎を申し上げます。

この大会は、関東各都県のスポーツの振興はもとより、スポーツを通じて各都県との親睦と地域住民との友好を深め、地方文化の発展に寄与するものであり、福井県で開催される「福井しあわせ元気国体」の関東ブロック代表を決定する重要な大会でございます。

選手の皆様には、日ごろ培った練習の成果を存分に発揮され、各会場地において熱くレベルの高い戦いを繰り広げられますことを期待しております。そして、代表権を勝ち取られた選手・監督の皆様におかれましては、全国屈指の激戦区といわれる関東ブロック代表の名にふさわしく、福井国体において全国制覇を目指されますことを願っております。

来年開催される茨城国体を目前に控え、スポーツの振興と競技力の向上を積極的に推進している本県において、このような大会が開催されますことは、県民のスポーツに対する意識の高揚はもとより、スポーツの素晴らしさを感じていただける絶好の機会であると考えております。

この機会に、水と緑に恵まれた茨城県の豊かな自然や歴史、人情味あふれる地域住民との交流などを通して、本県の魅力を存分にご堪能いただき、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

結びに、選手の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



銚田市長 岸田 一夫

第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技会が、ここ「菜果の国」銚田市において、関東各都県を代表する多くの選手・監督及び役員の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことは誠に喜ばしく、銚田市民を代表して心から歓迎申し上げます。

さて、この山岳競技におきましては、リード、ボルダリング、スピードの3種がスポーツクライミング競技として2020年の東京オリンピックで開催されることが決まり、注目度や関心が飛躍的に高まっているところでございます。また、TVや新聞などを通し広く報道されるようになり、スポーツとしての魅力を含めクライミングが身近になってきているところでございます。その様な中、来年度開催される「いきいき茨城ゆめ国体2019」の正式競技としてスポーツクライミングが銚田市で開催されることは大変光栄なことであり、市としても全力を挙げて盛り上げていきたいと考えております。

本大会に参加する選手の皆さんの背景には、勝利に向け日ごろの厳しい練習を積み重ねてきたことがあってのことと思います。大会では悔いのない様全力を出し切っていただきたいと思っております。また、選手同士の親睦・交流の輪をますます広げられますことをご期待申し上げます。

なお、本市はラムサール条約に登録された湿地「涸沼」を始め、霞ヶ浦を構成する湖のひとつである「北浦」、そして太平洋を望む「大竹海岸海水浴場」や「鹿島灘海浜公園」など、水と緑に恵まれた自然豊かな地域でございます。また、温暖な気候と肥沃な大地は農業に適しており、農業産出額は全国第2位（平成28年度）を誇る一大農業地帯です。特に、メロンやさつまいもは農業産出額全国第1位、いちご、トマト、みず菜、ほうれん草、ごぼうなどの野菜のほか、豚肉についても全国トップクラスの生産地ですので、どうかこの機会においしい銚田の食材を食して頂ければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なご尽力をいただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、選手皆様のご健闘、ご活躍をご祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

第73回国民体育大会関東ブロック大会競技日程・競技会場

季	No.	競 技	競 技 日 程	会 場 地 名	会 場 名	所 在 地	
本 大 会	1	水球	8月4日(土)・5日(日)	土浦市	県立土浦第二高等学校	土浦市立田町9-6	
		アーティスティック	7月22日(日)	ひたちなか市	笠松運動公園屋内プール	ひたちなか市佐和2197-28	
	2	サッカー	成年男子	8月18日(土)・19日(日)	ひたちなか市	笠松運動公園陸上競技場	ひたちなか市佐和2197-28
			少年男子		ひたちなか市	ひたちなか市総合運動公園陸上競技場	ひたちなか市新光町49
		女子	水戸市	ひたちなか市総合運動公園スポーツ広場	ひたちなか市新光町49		
	3	テニス	8月4日(土)・5日(日)	神栖市	神栖海浜庭球場	神栖市南浜1-3	
	4	ボート	7月21日(土)・22日(日)	潮来市	潮来市立ボートセンター	潮来市潮来6322	
	5	ホッケー		8月17日(金)~20日(月)	東海村	阿漕ヶ浦公園ホッケー場	那珂郡東海村村松579
						県立東海高等学校	那珂郡東海村村松771-1
	6	ボクシング		8月24日(金)~26日(日)	城里町	県立水戸桜ノ牧高等学校常北校	東茨城郡城里町春園1634
	7	バレーボール	成年男・女、少年男子	8月25日(土)・26日(日)	ひたちなか市	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	ひたちなか市新光町49
			少年女子		結城市	かなくぼ総合体育館	結城市鹿窪1
			ビーチバレーボール	7月22日(日)	大洗町	大洗サンビーチ特設コート	大洗町大洗サンビーチ
	8	体操	競技	8月24日(金)・25日(土)	日立市	池の川さくらアリーナ	日立市東成沢町2-15-1
			新体操	8月26日(日)・27日(月)			
	9	バスケットボール		8月18日(土)・19日(日)	ひたちなか市	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	ひたちなか市新光町49
	10	ウエイトリフティング		8月17日(金)・18日(土)	高萩市	高萩市文化会館	高萩市高萩6
	11	ハンドボール	成年男子	8月17日(金)~19日(日)	坂東市	坂東市総合体育館	坂東市岩井3086
			成年女子	8月17日(金)・18日(土) ※19日は成年男子会場で実施	守谷市	常総運動公園体育館	守谷市野木崎4700
			少年男子	8月17日(金)~19日(日)	常総市	水海道総合体育館	常総市坂手町3552
			少年女子	8月17日(金)・18日(土) ※19日は少年男子会場で実施		県立水海道第二高等学校	常総市水海道橋本町3549-4
	12	ソフトテニス		8月25日(土)・26日(日)	北茨城市	磯原地区公園テニスコート	北茨城市磯原町磯原大石1206-1
	13	卓球		8月18日(土)・19日(日)	日立市	池の川さくらアリーナ	日立市東成沢町2-15-1
	14	軟式野球		8月18日(土)	水戸市	水戸市民球場	水戸市見川町2256
					土浦市	J・COMスタジアム土浦	土浦市川口2-12-75
	15	馬術		7月7日(土)・8日(日)	茨城町	中島トニアシュタル	東茨城郡茨城町大戸738
	16	フェンシング		8月18日(土)・19日(日)	水戸市	青柳公園水戸市民体育館	水戸市水府町864-6
	17	柔道		8月19日(日)	龍ヶ崎市	たつのこアリーナ	龍ヶ崎市中里3-2-1
	18	ソフトボール	成年男子	8月18日(土)~20日(月)	常陸太田市	山吹運動公園	常陸太田市新宿町1
			成年女子			白羽スポーツ広場	常陸太田市白羽町1738-1
			少年男子		下妻市	柳原球場	下妻市柳原791-1
砂沼広域公園野球場						下妻市半谷724-1	
千代川運動公園野球場						下妻市鬼怒257	
少年女子	千代川中学校	下妻市鎌庭2777					
19	バドミントン		8月18日(土)・19日(日)	石岡市	石岡運動公園体育館	石岡市南台3-34-1	
20	弓道		8月26日(日)	水戸市	堀原運動公園弓道場	水戸市新原2-11-1	
21	ライフル射撃	S. B(50m)、AR(10m)	8月25日(土)・26日(日)	桜川市	県営ライフル射撃場	桜川市真壁町桜井1074-2	
		BR、BP			桜川市岩瀬体育館ラスカ	桜川市岩瀬2685-14	
22	剣道		8月26日(日)	筑西市	下館総合体育館	筑西市上平塚627	
23	ラグビーフットボール		8月24日(金)~26日(日)	水戸市	ケーズデンキスタジアム	水戸市小吹町2058-1	
					水戸市立サッカー・ラグビー場	水戸市河和田町3438-1	
24	山岳		7月28日(土)・29日(日)	鉾田市	鉾田総合公園体育館	鉾田市当間2331	
25	カヌー	スプリント	7月8日(日)	神栖市	神之池特設カヌー競技場	神栖市溝口	
		スラローム ワイルドウォーター	6月9日(土)・10日(日)	大子町	久慈川特設カヌー競技場	大子町袋田	
26	アーチェリー		8月19日(日)	つくば市	荻崎運動公園	つくば市下岩崎2160-10	
27	空手道		8月25日(土)	牛久市	牛久運動公園体育館	牛久市下根町1400	
28	クレー射撃		8月1日(水)	笠間市	県狩猟者研修センター射撃場	笠間市石寺680	
29	なぎなた		7月22日(日)	常陸大宮市	西部総合公園体育館	常陸大宮市工業団地25	
30	ボウリング		7月14日(土)・15日(日)	取手市	フジ取手ボウル	取手市寺田4988	
31	ゴルフ	少年	7月12日(木)・13日(金)	笠間市	宍戸ヒルズカントリークラブ	笠間市南小泉1340	
冬季	32	アイスホッケー	成年	12月7日(金)~9日(日)	ひたちなか市	笠松運動公園アイススケート場	ひたちなか市佐和2197-28
		少年	12月21日(金)~23日(日)				

田	島	敏	包	清	水	勇	人	松	本	富	男	土	屋	品	子
程	塚	孝	作	杉	本	保	雄	中	島	政	司	高	橋	勝	雄
磯	井	貞	夫	本	橋	民	夫	武	政	俊	宏	山	中	茂	樹
富	岡	貞	清	石	倉	昭	一	古	川	光	治	松	崎	洋	右
小	島	敏	男	田	口	文	夫	帆	足	光	代	立	原	洋	明
三	木	征	郎	佐	木	康	一	大	澤	俊	彦	青	木	克	己
小	野	敏	郎	々	井	成	雄	岩	瀬	俊	隆	小	林	信	郎
古	川	和	男	宇	司	忠	一	野	村	暢	郎	西	村	幸	吉
谷	川	義	元	庄	谷	重	男	佐	野	勝	俊	白	井	正	一
田	邊	浩	男	熊	名	勇	次	関	川	俊	治	扇	原	賢	二
渡	瀬	敏	一	牧	口	好	一	谷	清	秀	明	川	畑	富	保
有	田	喜	幸	椎	野	吉	黨	本	崎	優	雄	小	川	優	光
瀧	形	久	勇	関	澤	悦	克	松	野	広	子	黒	河	敏	一
鎌	川	英	男	江	田	憲	嗣	上	田	明	治	上	野	二	一
笠	堂	治	雄	内	田	博	彦	和	木	陽	仁	西	村	三	稔
伍	橋	恭	憲	村	野	稔	博	八	浦	正	子	三	宅	康	信
高	丸	公	文	平	野	司	司	三	根	盛	英	梅	田	義	利
金	保	健	裕	星	本	一	郎	関	本	正	忍	有	山	勝	剛
大	葉	夫	夫	山	塚	祥	郎	岡	野	一	幸	千	葉	充	道
千	谷	真	真	中	山	健	也	大	坂	紀	次	保	坂	胤	蔵
水	川	堯	堯	龜	本	哲	次	小	本	博	郎	小	野	三	子
笹	原	晃	史	菊	谷	康	司	坂	田	清	典	山	田	清	一
石	津	史	久	細	上	健	一	敷	屋	宏	昭	白	石	悠	彦
野	原	久	平	村	沼	憲	宙	土	口	敬	敬	塩	谷	武	雄
石	野	助	一	柿	口	宇	義	山	田	宏	保	天	野	和	望
河	卷	一	夫	山	井	三	作	城	林	保	雄	羽	隅	弘	治
藤	川	夫	之	諸	田	眞	一	小	原	敏	義	丹	治	裕	明
長	本	太	太	廣	藤	俊	弘	関	月	男	男	西	谷	喜	賢
岡	辺	仁	仁	加	瀬	玉	彦	田	田	之	之	並	木	久	之
渡	木	德	德	長	辺	達	也	望	松	久	久	吉	邊	敏	男
藤	屋	亨	亨	渡	野	孝	夫	山	向	喜	喜	向	岡	幸	剛
古	屋	民	民	天	吉	敏	卓	植	松	子	子	松	山	宏	宏
古	橋	健	健	里	野	教	彦	中	寫	明	明	渡	田	英	一
土	倉	一	一	小	池	成	之	大	森	文	文	野	邊	隆	二
白	賀	隆	隆	菊	山	信	夫	堀	内	郎	郎	河	口	克	昭
有	中	夫	夫	秋	井	成	眞	加	美	二	二	小	野	春	也
田	間	美	美	白	田	成	淳	坂	田	雄	雄	飯	島	雄	彦
風	崎	毅	毅	長	保	信	清	山	下	忠	忠	鈴	田	宜	二
山	山	毅	毅	久	川	成	之	山	田	志	志	森	邊	浩	民
中	領	郎	郎	須	田	敏	透	仙	澤	一	一	原	口	利	道
新	口	美	美	財	野	成	雄	黒	弘	夫	夫	飯	野	武	稔
関	路	進	進	海	島	敏	博	梶	弘	彦	彦	下	作	利	之
下	井	榮	榮	中	部	壽	衛	会	真	彦	彦	永	妻	武	晨
薄	田	榮	榮	阿	梨	壽	英	白	信	彦	彦	久	野	利	清
川	原	榮	榮	葉	根	壽	英	手	克	彦	彦	保	田	武	清
萩	原	榮	榮	岸	根	壽	英	手	克	彦	彦	保	田	武	清

参与

來 栖 行 正 高 山 陽 好 岡 部 英 男 二 階 堂 章 信
 川 口 浩 中 川 喜 久 西 條 昌 良 沼 田 利 光
 岡 田 広 葉 梨 康 酒 井 雅 信 堀 口 卓 司 郎
 鈴 木 昭 今 泉 和 須 藤 郁 由 上 久 保 洋 一 夫
 加 瀬 正 矢 口 和 飯 島 俊 郎 高 岡 秀 八 千 代
 川 崎 男 佐 藤 健 中 山 直 石 川 千 恵 子
 大 内 富 夫 夫 豊 井 染 横 梅 安 岩 大 久 保 子 原 来 井
 新 伊 夫 哲 仁 夫 基 亮 樹 輔 彦 久 雄
 小 藤 利 源 隆 春 良 克 武 行
 赤 荻 間 谷 川 澤 塚 原
 本 小 小 西 手 萩 長

委員長

根 本 聡

副委員長

益 子 雄 行

総務委員

田 代 哲 郎 新 井 徹 依 田 英 樹 加 藤 俊 文
 河 野 和 久 櫻 山 周 前 島 敬 齊 荒 川 政 利
 松 本 博 崇 河 小 本 野 弘 大 野 輝 三 青 木 政 寬
 並 木 一 夫 鏡 高 味 橋 村 德 大 岩 原 飯 星 永 窪 二 階 田 野 武 史 章 利 精 隆 和 浩 憲 武 陵 洋
 上 野 二 三 一 壯 利 二 生 好 治 義 一 一 彦 郎 男 幸 雄 之 樹 巳
 山 口 井 勝 勝 国 陽 喜 久 兼 龍 伸 和 健 稔 弘 富 勝 芳 正
 櫻 中 佐 高 中 田 榎 巴 根 渡 嶋 松 額 大 大 山
 中 山 川 原 崎 本 辺 田 枝 賀 山 峰 田
 鏡 高 大 白 加 水 鎌 酒 萩 平 天 山 岸 西 野 鈴 藤 岩
 村 田 藤 谷 形 井 原 子 本 本 野 口 木 枝 間
 夫 治 眞 勇 信 大 一 亮 弘 明 伸 男 之 操 雄
 信 寬 篤 順 憲 昌 敏 幸 文 弘 信
 久 夫 治 眞 勇 信 大 一 亮 弘 明 伸 男 之 操 雄
 堂 田 子 藤 本 川 部 水 下 田 水 川
 博 晨 郎 信 光 司 作 人 実 一 隆 彦 護 平 修 一
 大 薄 照 吉 來 川 岡 保 奧 須 林 萩 谷 滝 中 木 長 武
 井 沼 田 栖 口 田 坂 秋 田 谷 中 川 村 村 石
 一 宏 鎮 忠 行 光 將 裕 幹 弘 藤 剛 浩 和 良
 文 利 寬 毅 生 美 夫 征 正 浩 広 雄 史 明 夫 通 雄 司 子 夫 馨 男

競 技 会 役 員

(敬称略・順不同)

名誉会長	岸田 一夫			
会 長	二階堂 章信(茨城)			
副 会 長	関口 薫(千葉)	土子 明良		
顧 問	石澤 好文(栃木)	八木原 罔明(群馬)	石倉昭一(埼玉)	亀山 健太郎(東京)
	岡本 安夫(神奈川)	秋山 教之(山梨)	井川 茂樹	石崎 千恵子
	村田 和寿			
参 与	田所 洋一	小森 栄治	西内 博	海老沢 季雄
	川嶋 正人	東 和之(栃木)	佐藤 光由(群馬)	天野 賢一(埼玉)
	蛭田 伸一(千葉)	廣川健太郎(東京)	菊池 稔(神奈川)	望月 啓治(山梨)
	渡邊 統之	小沼 弘律	寺門 利幸	鈴木 浩
委 員 長	椎名 正明			
副委員長	木村 実			
委 員	山田 正巳	一ノ瀬 正節	中庭 稔	永井 伸幸
	中沢 隆一	佐藤 越哉		

競 技 役 員

(敬称略・順不同)

競 技 委 員 長	椎名 正明		
競 技 副 委 員 長	木村 実		
総 務 委 員	高森 利光(茨城)	新井好司(群馬)	蛭田伸一(千葉)

【審判部】

審 判 長	瀬谷 修(茨城)			
副 審 判 長	有地 伸弘(千葉)			
リード主任審判	村松 久徳(山梨)			
リード副主任	百瀬 恭平(千葉)			
リード審判	渡邊 潤(栃木)	片田 多加世(埼玉)	勝見 公明(神奈川)	
ホタルリンク主任審判	羽鎌田 直人(東京)			
ホタルリンク副主任	山崎 剛(東京)			
ホタルリンク審判	益子 勝(茨城)	泉 広光(茨城)	鈴木 勝江(栃木)	堀込 悟(群馬)
	滝口 諄人(群馬)	柏尾 将太(埼玉)	齊藤 いずみ(千葉)	加藤 幸成(神奈川)
	倉石 孝平(山梨)			

【総務部】

総務部長	山田 正巳			
会議式典・来賓対応主任	中庭 稔			
会議式典・来賓対応副主任	海老沢 季雄			
会場設営・管理主任	佐藤 正彦			
会場設営・管理副主任	落合 淳利	田崎 孝	石井 裕子	
会場設営・管理係	横内 滋	高橋 正樹	民谷 周一	中島 美野
	飛田 まさ子	黒澤 勝		
経理主任	一ノ瀬 正節			
報道対応主任	小松 正次			
報道対応係	菊池 俊博			
総務補助員	武藤 雅矢(水戸工)	萩谷 克樹(水戸工)	石崎 天琉(水戸工)	江幡 寿道(水戸工)
	高橋 広大(水戸工)	高瀬 朋美(水戸工)		

【競技部】

競技部長	木村 実			
選手管理主任	長谷川 国広			
選手管理副主任	磯野 雄一	菊池 博之	鈴木 洋子	
アイソレーション係	佐藤 常雄	山崎 正		
コールゾーン係	伊澤 千絵子	小磯 栄		
アイソレーション補助員	安藤 悠(水戸工)	池田 孝男(水戸工)	菅原 駿斗(水戸工)	戸井田 颯斗(水戸工)
コールゾーン補助員	根本 シブキ(水戸工)	萩谷 笙永(水戸工)	小柳 陽菜(水戸工)	田所 央(水戸工)
ビレイ主任	宮下 直人			
ビレイ副主任	田中 真伸			
ビレイ係	宇野 孝之	黒沢 哉子	関根 剛史	田中 俊介
	安部 勝義			
ビレイ補助員	磯崎 太一(水戸工)	大金 竜士(水戸工)	大熊 匠(水戸工)	立原 龍斗(水戸工)
	増子 統哉(水戸工)	村田 彪斗(水戸工)	石田 虎太郎(水戸工)	
クリーニング主任	山本 茂男			
クリーニング副主任	北村 知之			
クリーニング補助員	工藤 和樹(水戸工)	永井 滉大(水戸工)	内田 朋弥(水戸工)	中丸 雄太(水戸工)
時計主任	細貝 政治			
時計副主任	服部 友樹			
時計係	金沢 満正	鈴木 章義	田中 暢宏	

ビデオ主任	宮本 光長			
ビデオ係	岩佐 弘	鈴木 幸		
ビデオ補助員	米川ほの香(水戸工)	舟橋菜都美(水戸葵陵)	米川夢香(水戸葵陵)	佐川達哉(水戸葵陵)
成績集計主任	笠原 健一			
成績集計係	古川 俊行	中沢 隆一		
成績集計助成	山本 和幸(JMSCA)			
成績集計補助員	吉成勘九郎(水戸工)	根本 康生(水戸工)		
放送主任	牛山 由香			
放送係	堀 香奈	横倉 菜穂		
放送補助員	小磯彩花(水戸第三)	粉川友里花(水戸第三)		
医療スタッフ	仲田 博子	松本 博子		
選手荷物管理補助員	佐藤 柊哉(水戸工)	金澤 利幸(水戸工)	庄司龍之介(水戸工)	岡部 一輝(水戸工)
	金谷 友輔(水戸工)	軍司 頌馬(水戸工)	照井 歩夢(水戸工)	渡辺 章斗(水戸工)
チーフルートセッター	松島 暁人			
ルートセッター	芝田 将基	永田 乃由季	沼尻 拓磨	

開始式・表彰式

1 会場案内

開始式： 7月28日(土) 9:30~9:50
銚田市 銚田総合公園体育館

表彰式： 7月29日(日) 16:00~
銚田市 銚田総合公園体育館

2 式次第

開始式	表彰式
開式通告	開式通告
大会会長あいさつ	講評および成績発表
歓迎のことば	表彰状授与
競技開始宣言	通過認定証授与
選手宣誓	競技終了宣言
審判員紹介	山岳競技会会長挨拶
閉式通告	時期開催地代表あいさつ
諸連絡	閉式通告
	諸連絡

大会役員			マイク			来賓		
山梨	神奈川	東京	千葉	埼玉	群馬	栃木	茨城	
成年女子	成年女子	成年女子	成年女子	成年女子	成年女子	成年女子	成年女子	成年女子
少年男子	少年男子	少年男子	少年男子	少年男子	少年男子	少年男子	少年男子	少年男子
少年女子	少年女子	少年女子	少年女子	少年女子	少年女子	少年女子	少年女子	少年女子
一般応援者 競技役員								

第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技 実施要項

1 競技日程 平成30年7月28日(土)～29日(日)

種別	7月28日(土)		7月29日(日)	
成年女子	・受付 ・審判員総務委員 会議 ・監督会議 ・開始式	ボルダリング競技	リード競技	・審判員総務委員 会議 ・表彰式
少年男子		リード競技	ボルダリング競技	
少年女子		リード競技	ボルダリング競技	

2 競技会場

リード競技：銚田市 銚田総合公園体育館 特設リード競技場

ボルダリング競技：銚田市 銚田総合公園体育館 特設ボルダリング競技場

(〒311-1528 銚田市当間 2331 電話番号 0291-33-3340)

3 種別・種目及び参加人員

種別	種目	監督	選手	参加 県数	小計	合計	代表数
成年女子	・リード ・ボルダリング	1	2	7	21	69	3
少年男子		1	2	8	24		3
少年女子		1	2	8	24		3

4 競技方法

第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技会実施要領による。なお、ここに定められた以外の事項については、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会が定めた現行の競技規則による。

5 参加資格、所属都県及び年齢基準

- 第73回国民体育大会関東ブロック大会総則8及び平成30年度各都県競技選手として登録した者。少年男女については、中学3年生の参加を認める。
- 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認山岳指導員、公認山岳上級指導員、公認山岳コーチ、公認山岳上級コーチ、公認スポーツクライミング指導員、公認スポーツクライミング上級指導員、公認スポーツクライミングコーチのいずれかの資格を有していなければならない。

6 種別総合順位の決定方法

2013. 6. 20 日山協發文書「平成 25 年度からの国体山岳競技ブロック大会における種別総合順位決定方法」に基づいて決定する。

7 表彰及び通過認定証

- (1) 各種別の各種目第3位のチームまで賞状を授与する。
- (2) 関東ブロック大会の通過種別チームに通過認定証を授与する。

8 受付及び諸会議について

- (1) 受付
7月28日(土) 8:00～8:30
銚田総合公園体育館 エントランスホール
- (2) 審判員・総務委員会議(審判員、総務委員、関係役員)
7月28日(土) 8:30～9:00
7月29日(日) 15:20～15:30
銚田総合公園体育館 キッズルーム
- (3) 監督会議(監督、審判員、総務委員、関係役員)
7月28日(土) 9:00～9:30
銚田総合公園体育館 キッズルーム
- (4) アンチ・ドーピング研修
7月29日(日) 少年男子ボルダリング競技終了通告後～15:50
銚田総合公園体育館 キッズルーム

9 開始式・表彰式について

- (1) 開始式
7月28日(土) 9:30～9:50
銚田総合公園体育館
- (2) 表彰式
7月29日(日) 16:00～
銚田総合公園体育館

10 参加・宿泊申込みについて

- (1) 参加申込み
 - ア 申込み方法 第73回国民体育大会関東ブロック大会総則、宿泊要項を熟読のうえ、参加申込、宿泊申込等を定められた期限までに、指定されたWeb ページに提出すること。
 - イ 申込み締切 平成30年6月14日(水)
 - ウ 申込み先 第73回国民体育大会関東ブロック大会総則による。
- (2) 宿泊申込み 第73回国民体育大会関東ブロック大会宿泊要項による。

11 連絡事項

- (1) 都県番号は、次の通りとする。

8 茨城県	9 栃木県	10 群馬県	11 埼玉県
12 千葉県	13 東京都	14 神奈川県	15 山梨県

- (2) 各都県分担金・山岳連盟運営協力金

次の金額を受付時に納入するものとする。

ア 各都県分担金 25,000 円 (200,000 円／8 都県)

イ 山岳連盟運営協力金 10,000 円

- (3) 装備・携行品について

ア 都県岳連旗1流を7月25日(水)必着で第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技実行委員会事務局以下「事務局」という。)宛に送付すること。

イ 監督・選手の顔写真を別に定める用紙に貼り、受付時に提出すること。

(縦4cm×横3cm 大会前6ヶ月以内のカラー写真)

ウ 監督・選手の名札、選手のゼッケンは事務局で用意する。

- (4) 選手、監督の交替(変更)届出は、7月28日(土)の競技会監督会議開催前までとする。

- (5) 競技に関する質問について

「第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技質問票」に内容を記入し、7月13日(金)必着で事務局宛にE-mail又は郵送すること。回答は、監督会議において行う。

- (6) 競技会場の立ち入りについて

会場安全管理上、平成30年7月7日(土)からブロック大会開催日まで、選手、監督及びその関係者が競技会場に立ち入ることを禁止する。

本大会専用の仮設ウォールで競技を実施するため、事前練習は行えない。

- (7) 選手のプロフィールを別に定める様式により7月13日(金)までに事務局宛に送付すること。

- (8) 都県の子選会報告書を6月14日(木)までに事務局宛に送付すること。

- (9) 競技スタート順は、平成30年2月3日の関東地区山岳連盟総会での抽選結果どおりとする。

12 その他

第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技実行委員会事務局

〒311-0111 茨城県那珂市後台1757-3 山田正巳 宛

TEL : 029-295-0422

携帯 : 090-6929-8263 E-mail : ibarakikengakuren@yahoo.co.jp

平成25年度からの国体山岳競技ブロック大会における種別総合順位決定方法

2018.6.21

国体では平成25年度大会から、リード競技のチーム成績に同着があった場合の算出方法を「同着となったチームの選手の競技時間(アテンプト開始から終了までの時間)の合計を比較し、これが短いチームを上位とする。」に変更します。これにともないブロック大会の順位決定方法についても一部変更が生じますので対応をお願いいたします。

- (1) リード競技のチーム順位は、「国民体育大会山岳競技規則集 平成25年5月改定」(以下規則集)の「リード競技規則」第4章 審査基準にしたがって決定する。ブロック大会では、カウントバックを除き、決勝の方法に準ずるものとする。

なお平成25年より、決勝において従来の決定法(規則集 リード競技規則 第8条第2項まで)を適用してなお、チーム順位に同着があった場合、同着となったチームの選手の時間記録合計を比較することとなっている(同 第3項)ので、留意されたい。

- (2) ボルダリング競技の順位決定方法(2018.6.21注釈)

IFSCルール改正に伴う、国体ボルダリング競技規則の一部が改正されました。順位決定は、改正された規則に基づき行います。日山・ス協会より周知され次第ご連絡致します。

- (3) 種別総合順位は以下の方法により決定する。例としてブロック4県中、通過県は2県の場合を示す。

- 1) リード競技とボルダリング競技それぞれのチーム順位を合計したものを比較して決定する。

県名	A 県	B 県	C 県	D 県
リード チーム順位	1位	3位	2位	4位
ボルダリング チーム	2位	1位	4位	3位
チーム順位合計	3	4	6	7

種目別チーム順位を合計した値が小さいA県とB県が通過

- 2) 複数のチームの、1)で求めたチーム順位合計が同点になった場合は、種目別チーム順位で高順位を有するチームを上位とする。

県名	A 県	B 県	C 県	D 県
リード チーム順位	1位	3位	2位	4位
ボルダリング チーム	3位	1位	2位	4位
チーム順位合計	4	4	4	8

より上位の種目別チーム順位を有するA県とB県が通過

※ リード競技、ボルダリング競技ともに、2)以下で用いる個人順位に同順位者が複数いる場合、個人順位は以下のように算出した平均順位の値を用いる。これを求める一般式は 順位+ (同着の人数- 1)÷2 となる。

例:1位に6名の同着があった場合、同着の各選手の順位は $(1+2+3+4+5+6) \div 6 = 21 \div 6 = 3.50$ となる

例:2位に4名の同着があった場合、同着の各選手の順位は $(2+3+4+5) \div 4 = 14 \div 4 = 3.50$ となる

- 3) 2)の種目別チーム順位と比較でも選考できない場合は、2種目の種目別個人順位の合計で上位となる(合計した値が小さい)チームを上位とする。

県名	A 県	B 県	C 県	D 県
リード チーム順位	1位	2位	3位	4位
ボルダリング チーム順位	1位	3位	2位	4位
チーム順位合計	2	5	5	8

A 県は1)により通過決定
B、C 県は2)を適用しても同順位で選考できない



県名	B 県	C 県
リード個人順位	2.5位・4位	5位・6位
ボルダリング個人順位	5位・6位	3位・4位
個人順位合計	17.5	18

個人順位合計で上位となるB 県が通過

- 4) 3)の2種目の個人順位の合計の比較でも選考できない場合は、個人順位に高順位を有するチームが上位となる。

県名	B 県	C 県
リード個人順位	2.5位・4.5位	4.5位・6.5位
ボルダリング個人順位	5位・6位	3位・4位
個人順位合計	18	18

より上位の個人順位を有するB 県が通過

- 5) 下表のように4)を適用しても、個人順位の高順位が同順位で選考できない場合、当該の各都道府県チームの選手各2名が、ボルダリング競技のタイプブレイクボルダー(旧スーパーファイナル)形式で、スーパーファイナルをおこない、チーム順位が上位のチームを上位とする。

種目	県名	B 県	C 県
リード チーム順位		2位	3位
ボルダリング チーム順位		3位	2位
チーム順位合計		5	5
リード個人順位		4位・6位	3位・5位
ボルダリング個人順位		3位・5位	4位・6位
個人順位合計		18	18

両県の全ての条件が同じ

※ この時、ボルダリング競技規則 第4条第4項(3)に定めるアテンプト回数の上限は適用せず、両チームの差がつくまで繰り返す。

※ この場合を想定して、ボルダリング競技を最終日に実施することが望ましい。

※ スーパーファイナルの個人順位決定後のチーム順位が同じ場合は、個人順位の高順位のあるチームを上位とする。

※ やむを得ずスーパーファイナルをリード競技でおこなう場合は、新たにルートを設定せず、リードで使用した同じルートでおこなうことができる。

ただしこの場合、リード競技でアテンプトを終了した全選手について、そのチームのスーパーファイナルの必要の有無が確定するまで、他選手の競技を見ることができないように隔離しなければならない。またチーム順位は、前記(1)にしたがって決定する。

第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技 実施要領

第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技実施要領を次のとおり定める。

本実施要領に定めるもののほか、必要な事項は社団法人日本山岳・スポーツライミング協会が定めた現行の競技規則による。

なお、天候等の事情により、日程及びスケジュールを変更する場合がある。

1 全種目共通事項

- (1) アイソレーション受付時に「監督・選手確認カード」との照合確認を行う。
- (2) 選手・監督・トレーナー以外の者はアイソレーションゾーンに入ることはいできない。また選手・監督は一度アイソレーションゾーンに入ると、アイソレーションクローズ前であっても退出することはできない。
- (3) 各都県帯同トレーナーは、複数の種別で兼務を可能とする。(例：成年少女・少年男子・少年女子) トレーナーの氏名と担当する種別は事前に配布するトレーナー登録票で申請し、受付時にも申告する。また、アイソレーションゾーンに入る際は入退出管理票に必要事項を記載しなければならない。
- (4) トレーナーは一度アイソレーションゾーンを退出した場合、再度戻ることはできない。
- (5) 競技会場において、選手・監督・トレーナー(各チーム1名)は主催者側が用意する名札を付けるものとする。また、競技中の選手は主催者側が用意するナンバーカードを審判員から見えやすい背中に取り付けなければならない。なお、ナンバーカードは受付時に配布する。
- (6) 選手・監督・トレーナーは、アイソレーションゾーン内に携帯電話あるいはこれに類する電子通信機器類を持ち込んではいならない。なお、必要に応じてこれらの機器を、アイソレーションゾーンに入る際に「物品預かり所」に預けてからアイソレーションゾーンに入るものとする。預けた機器は競技終了後、競技会場内の「預かり品渡し所」で受け取ること。
- (7) アイソレーション受付時に健康状況申告書(受付時に配布)を提出すること。
- (8) 競技スタート順は関東地区山岳連盟総会における抽選で決定した通りとする。
- (9) 服装については、規則集「競技会に参加する選手、監督、競技会役員の服装に関する基準」に準ずる。また開始式、表彰式においては、所属チームのユニホームを統一すること。
- (10) タトゥー(刺青)を露出して競技、開始式、表彰式に参加しないこと。
- (11) 安全上の理由からピアス等の服飾品を身に付けて競技は行わないこと。

2 リード競技

- (1) 競技場及び競技方式
 - ① 競技場は、銚田市銚田総合公園体育館内に設置するリードウォールとし、競技は、各種別ごとにオンサイト・リード方式で行う。
 - ② アイソレーションゾーンは、同体育館会議室、男女ロッカー室、トイレ、ウォーミングアップゾーンとする。(会場図参照)
 - ③ チーム内の競技順については「監督・選手確認カード」に記載された枝番の順とする。
- (2) 審査
 - ① アテンプト終了時点の最高遠点のホールドで選手の成績を測定し、個人順位を決定する。(個人の順位付けは、規則集にあるリード競技規則の定めるところによる。)
 - ② チーム順位は、当該チーム選手2名の個人順位を合計した値で決定する。個人順位の合計が等しい場合は、より上位の個人順位のあるチームを上位とする。
 - ③ 前記により決定されたチーム順位で、複数のチームが同位となった場合は、各チームの個人クライミング時間を合計し、合計時間が短いチームを上位とする。

(3) 進行

- ① アイソレーションクローズ後、選手と監督はオブザベーションを行う。このとき、競技順が2番目までのチームはハーネスを着けたうえで競技に必要な用具と手荷物をコールゾーンに置いてからオブザベーションを行う。
- ② オブザベーションは6分間で、定められたエリアの中で行う。双眼鏡の使用やメモの作成は認められるが、それ以外の記録機器の使用は禁止する。メモ用の用紙は主催者側で用意したものを使用すること。
- ③ オブザベーション終了後、選手と監督はアイソレーションゾーンに戻り、役員の指示に従ってコールゾーンへ移動する。
- ④ 競技時間は6分間とする。アテンプト開始前の40秒は競技時間に含むものとする。
- ⑤ 監督は定められた席から選手に対して指示を送ることができる。
- ⑥ 終了通告は主任審判員が放送にて行う。

3 ボルダリング競技

(1) 競技場及び競技方式

- ① 競技場は、銚田市銚田総合公園体育館内に設置するボルダリングウォールとし、競技は、本国体予選方式で行う。
- ② アイソレーションゾーンは、同体育館会議室、男女ロッカー室、トイレ、ウォーミングアップゾーンとする。(会場図参照)

(2) 審査

- ① 完登数や獲得したゾーン数、それぞれに要したアテンプト数に応じて個人順位を出す。
(個人の順位付けは、規則集のボルダリング競技規則の定めるところによる。)
- ② チームの順位は、当該チーム選手2名の完登したボルダー数の合計、獲得したゾーン数の合計、完登までのアテンプト数の合計、ゾーンに達するまでのアテンプト数の合計を算出して決定する。

(3) 進行

- ① アイソレーションクローズ後、選手と監督は全ボルダー(2基4ボルダー)のオブザベーションを行う。このとき、競技順が2番目までのチームは競技に必要な用具及び手荷物をコールゾーンに置いてからオブザベーションを行う。
- ② オブザベーションは1基につき5分(計10分間)で、定められたエリアの中で行う。双眼鏡の使用やメモの作成は認められるが、それ以外の記録機器の使用は禁止する。この時、スタートホールドを含めクライミング・ウォールやホールドに触れることはできない。メモ用の用紙は主催者側で用意したものを使用すること。
- ③ オブザベーション終了後、選手と監督はアイソレーションゾーンに戻り、役員の指示に従ってコールゾーンに移動する。
- ④ 監督は、選手と一緒にコールゾーンに移動し、競技開始とともに監督席に移動する。
- ⑤ はじめ1基目の2ボルダーで、選手2名が同時にアテンプトを行う。競技時間は6分間とする。
- ⑥ 競技時間中はチーム内で選手が互いに指示を送ることができる。この時、監督は定められた席から選手に対して指示を送ることができる。
- ⑦ 競技時間終了までに選手が2名とも完登、もしくは棄権した場合、定められた席で待機する。
- ⑧ 次の競技時間までの間、定められた席で競技時間と同じ時間休憩をとる。
- ⑨ 休憩時間中は選手と監督が互いに相談、またはメモを見ることができる。
- ⑩ 次に2基目の2ボルダーで、選手2名が同時にアテンプトを行う。
- ⑪ 終了通告は主任審判員が放送にて行う。

4 競技スケジュール

7月28日(土)			
種別	少年女子	成年女子	少年男子
実施競技	リード	ボルダリング	リード
アイソレーションオープン	10:05	12:10	13:10
アイソレーションクローズ	10:20	12:25	13:25
開始通告	10:30	12:35	13:35
オブザベーション	10:50	13:00	14:45
競技開始	11:05	13:20	15:00
終了通告	競技終了後	競技終了後	競技終了後
7月29日(日)			
種別	少年女子	成年女子	少年男子
実施競技	ボルダリング	リード	ボルダリング
アイソレーションオープン	8:15	10:00	11:30
アイソレーションクローズ	8:30	10:15	11:45
開始通告	8:40	10:25	11:55
オブザベーション	9:10	11:00	13:10
競技開始	9:30	11:15	13:30
終了通告	競技終了後	競技終了後	競技終了後

5 その他

- (1) 競技会場の体育館内は土足禁止です。上履きを持参してください。(選手、監督、トレーナーは運動靴類を使用すること。)
- (2) 体育館内は冷房設備がありません。熱中症対策などの準備をお願いします。
- (3) 競技会場の体育館内は喫食禁止です。喫食は2階観覧席でとってください。
- (4) アイソレーションゾーンや競技エリアを含め体育館内は、禁煙です
- (5) 1階トイレは選手専用ですので、観客役員等は2階トイレの使用をお願い致します。
- (6) 計画輸送はありませんので、各都県の責任においての移動をお願いします。
- (7) リードウォール、ボルダリングウォールともに仮設のため会場での事前の練習はできません。
- (8) 大会初日の7月28日(土)の朝は、常磐自動車道及び北関東自動車道の渋滞が予想されますので、受付時間に間に合うような移動方法を検討ください。

第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技進行表

7月28日(土)

	オペレーション	少年女子 リード競技	成年女子 ボルダリング競技	少年男子 リード競技
7:00 30 45	競技役員受付 県内役員: 7:30~7:45			
8:00 10 20 30 40 50	選手監督受付 8:00~8:30 エントランス 総務員審判員会議 (キッズルーム)	受付 ウォームアップ可能	受付	受付
9:00 10 20 30 40 50	監督会議 (キッズルーム) 開始式 (体育館)	ウォームアップ終了 開始式	開始式	開始式
10:05 10 20 30 40 50	少年女子アイソレーションオープン 少年女子アイソレーションクロス 少年女子開始通告 少年女子オブザベーション	アイソ受付 10:05~10:20 開始通告 オブザベーション		
11:00 05 20 30 40 50	少年女子リード競技開始	競技開始 6分×16名		
12:00 10 25 35 40 50	成年女子アイソレーションオープン 成年女子アイソレーションクロス 成年女子開始通告		アイソ受付 12:10~12:25 開始通告	
13:00 10 20 25 25 30 35	成年女子オブザベーション 少年男子アイソレーションオープン 成年女子ボルダリング競技開始 少年男子アイソレーションクロス 少年女子リード仮成績発表 総務員審判員会議 少年男子開始通告	終了通告 少年女子仮成績発表	オブザベーション 競技開始 6分/基×7チーム	アイソ受付 13:10~13:25 開始通告
14:00 10 20 30 45 50 55	少年男子オブザベーション 成年女子ボルダリング仮成績発表 総務員審判員会議		終了通告 成年女子仮成績発表	オブザベーション
15:00 10 20 30 40 50	少年男子リード競技開始			競技開始 6分×16名
16:00 10 20 30 40 50	少年男子リード仮成績発表			終了通告 少年男子仮成績発表
17:00 10 20 30	総務員審判員会議			

第73回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技進行表

7月29日(日)

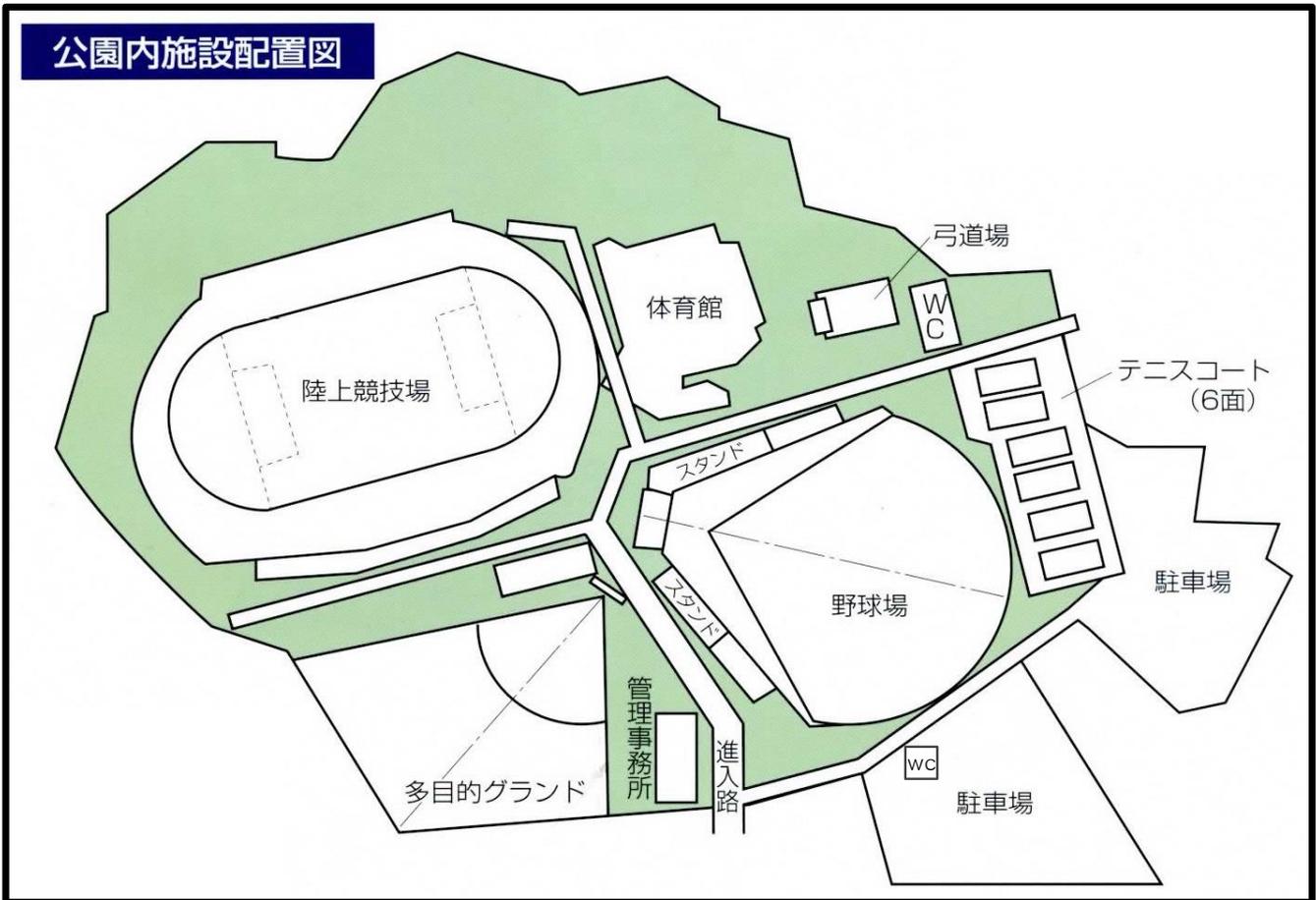
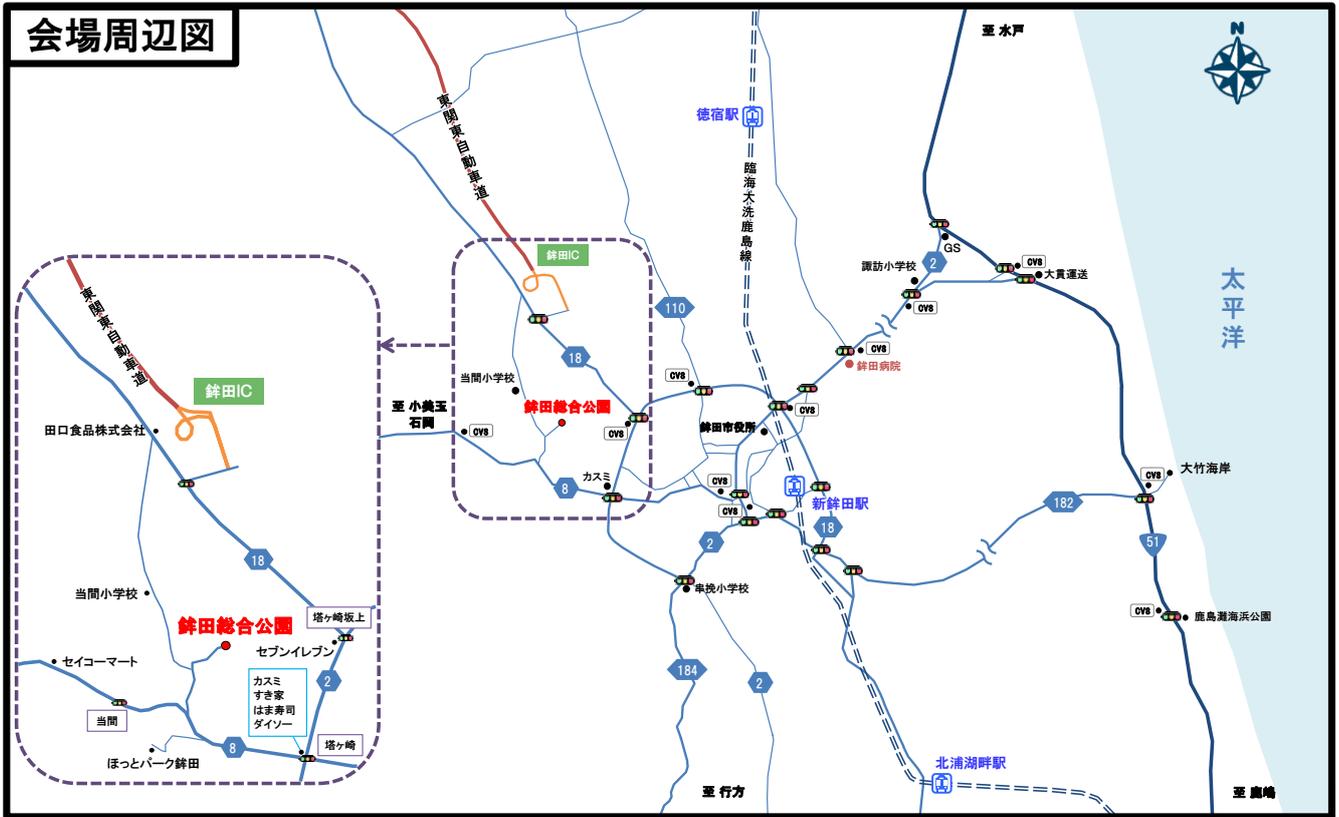
	オペレーション	少年女子 ボルダリング競技	成年女子 リード競技	少年男子 ボルダリング競技
7:00 30 45	競技役員受付 県内役員:7:30~7:45			
8:00 15 20 30 40 50	少年女子アイソレーションオープン 少年女子アイソレーションクロス 少年女子開始通告	アイソ受付 8:15~8:30 開始通告		
9:00 10 20 30 40 55	少年女子オブザベーション 少年女子ボルダリング競技開始	オブザベーション 競技開始 6分/基×8チーム	アイソ受付	
10:00 15 25 40 45 55	成年女子アイソレーションオープン 成年女子アイソレーションクロス 成年女子開始通告 少年女子終了通告 少年女子ボルダリング 仮成績発表 総務員審判員会議	終了通告 少年女子仮成績発表	10:00~10:15 開始通告	
11:00 10 15 30 45 55	成年女子オブザベーション 成年女子リード競技開始 少年男子アイソレーションオープン 少年男子アイソレーションクロス 少年男子開始通告		オブザベーション 競技開始 6分×14名	アイソ受付 11:30~11:45 開始通告
12:00 10 20 30 40 55	総務員審判員会議 成年女子終了通告		終了通告	
13:00 10 20 30 40 50	成年女子リード仮成績発表 少年男子オブザベーション 総務員審判員会議 少年男子ボルダリング 競技開始		成年女子仮成績発表	オブザベーション 競技開始 6分/基×8チーム
14:00 10 20 30 40 50	少年男子終了通告 少年女子ボルダリング 仮成績発表			終了通告 少年男子仮成績発表
15:00 10 20 30 40 50	アンチ・ドーピング研修 総務員審判員会議 総合成績確認	アンチ・ドーピング研修	アンチ・ドーピング研修	アンチ・ドーピング研修
16:00 10 20 30 40 50	表彰式 (体育館)	表彰式	表彰式	表彰式
17:00 10 20 30				

第73回国民体育大会関東ブロック大会 山岳競技 スタート順

種 別	少年女子		成年女子		少年男子	
種 目 競技開始時刻	リード競技 11:05～		ボルダリング競技 13:20～		リード競技 15:00～	
7月28日 (土)	1	東京都	1	埼玉県	1	茨城県
	2	栃木県	2	東京都	2	栃木県
	3	茨城県	3	茨城県	3	千葉県
	4	千葉県	4	山梨県	4	群馬県
	5	群馬県	5	千葉県	5	東京都
	6	山梨県	6	神奈川県	6	神奈川県
	7	埼玉県	7	群馬県	7	山梨県
	8	神奈川県			8	埼玉県

種 別	少年女子		成年女子		少年男子	
種 目 競技開始時刻	ボルダリング競技 9:30～		リード競技 11:15～		ボルダリング競技 13:30～	
7月29日 (日)	1	千葉県	1	群馬県	1	群馬県
	2	埼玉県	2	神奈川県	2	山梨県
	3	山梨県	3	埼玉県	3	茨城県
	4	群馬県	4	茨城県	4	栃木県
	5	東京都	5	東京都	5	埼玉県
	6	栃木県	6	山梨県	6	神奈川県
	7	茨城県	7	千葉県	7	千葉県
	8	神奈川県			8	東京都

会場周辺図 ・ 公園内施設配置図



交通のご案内

1 お車の場合

東関東自動車道 鈴田ICから約10分

2 電車の場合

鹿島臨海鉄道大洗鹿島線 鈴田駅からタクシー利用で約10分 (約1,500円)

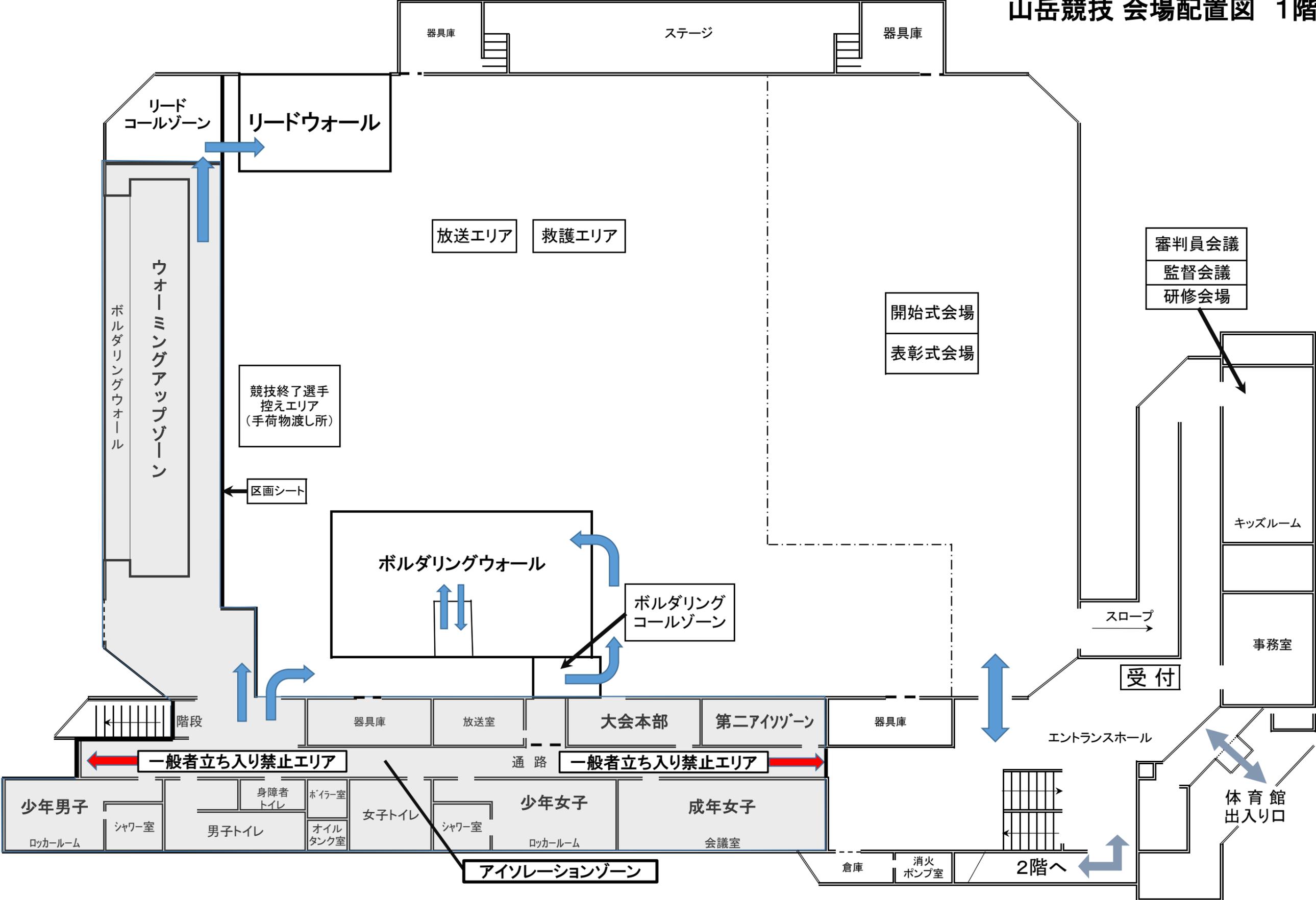
監督・選手名簿（１）

都県名	種別	選手監督	番号	氏名	フリガナ	勤務先・在籍校
茨城県	成年女子	監督		長谷 美玲	ハセガワ ミレイ	茨城県立水戸工業高等学校(教)
		選手	8-1	小林 由佳	コバヤシ ユカ	茨城県競技力向上対策本部
		選手	8-2	野口 啓代	ノグチ アキヨ	茨城県競技力向上対策本部
	少年男子	監督		國井 敬一	クニイ ケイチ	水戸シティロックジム アヴェュー
		選手	8-1	今泉 結太	イマイズミ ユウタ	翔洋学園高等学校
		選手	8-2	石田 諒	イシダ リョウ	茨城県立牛久高等学校
	少年女子	監督		森 正夫	モリ マサオ	筑波大学(教)
		選手	8-1	森 秋彩	モリ アイ	光輝学園つくば市立手代木中学校
		選手	8-2	菊池 野音	キクチ ノネ	洞峰学園つくば市立谷田部東中学校
栃木県	少年男子	監督		勅使河原 暁	テシガワラ アキラ	(株)オートテックニックジャパン
		選手	9-1	茂呂居 岳人	モロイ ガク	栃木県立佐野高等学校
		選手	9-2	川又 玲瑛	カワマタ レイ	宇都宮市立瑞穂野中学校
	少年女子	監督		谷嶋 真一	ヤジマ シンイチ	(株)SUBARU
		選手	9-1	半田 和	ハンダ ホカ	宇都宮海星女子高等学校
		選手	9-2	菊地 萌可	キクチ モエカ	宇都宮東高等学校附属中学校
群馬県	成年女子	監督		柳澤 順	ヤナギサワ ジュン	群馬県山岳連盟
		選手	10-1	細野 かおり	ホソノ カオリ	with Kaorin
		選手	10-2	浦野 和美	ウラノ カズミ	医療法人群馬会
	少年男子	監督		柘植 求	ツゲ モトム	ウォールストリート
		選手	10-1	小林 隼太	コバヤシ ハヤタ	群馬県立高崎高等学校
		選手	10-2	大竹 志弥	オオタケ ユキヤ	高崎市立箕郷中学校
	少年女子	監督		朝比奈 秀興	アサヒナ ヒデオキ	群馬県立嬭恋高等学校(教)
		選手	10-1	藤崎 七海	フジサキ ナナミ	東京農業大学第二高等学校
		選手	10-2	米澤 七海	ヨネザワ ナナミ	群馬県立高崎女子高等学校
埼玉県	成年女子	監督		内海 信	ウチカイ マコト	県立春日部工業高等学校(教)
		選手	11-1	加島 智子	カジマ トモコ	ルトラ ルトラ クライムパーク
		選手	11-2	坂井 絢音	サカイ アヤネ	埼玉県山岳連盟
	少年男子	監督		横内 鉄郎	ヨコウチ テツロウ	埼玉県山岳連盟
		選手	11-1	百合クサ 碧皇	ユリクサ アオ	専修大学附属高等学校
		選手	11-2	鶴 隼斗	ツル ハヤト	県立川越高等学校
	少年女子	監督		鈴木 友希	スズキ ユウキ	フロンティアスピリッツ
		選手	11-1	曾我 綾乃	ソガ アヤノ	県立伊奈学園総合高等学校
		選手	11-2	川端 美央	カワハタ ミオ	県立所沢商業高等学校

監督・選手名簿（2）

都県名	種別	選手監督	番号	氏名	フリガナ	勤務先・在籍校
千葉県	成年女子	監督		六角 智之	ロッカ トモキ	千葉市立青葉病院
		選手	12-1	竹下 瑛美李	タケシタ エミ	千葉県山岳連盟
		選手	12-2	菊沢 絢	キクサワ アヤ	日本女子体育大学
	少年男子	監督		飯田 恒次	イタ コウジ	コーワコーポレーション
		選手	12-1	大里 拓己	オオサト タキ	千葉県立幕張総合高等学校
		選手	12-2	村下 善乙	ムラシタ セント	流山市立常盤松中学校
	少年女子	監督		飯田 ゆか	イタ ユカ	グラビリティリサーチ TOKYO BAY
		選手	12-1	西田 朱李	ニシタ シュリ	千葉県立幕張総合高等学校
		選手	12-2	二宮 凜	ニミヤ リン	千葉商科大学附属高等学校
東京都	成年女子	監督		藤江 理枝	フジエ リエ	東京都山岳連盟
		選手	13-1	野中 生萌	ノカ ミホ	東京都山岳連盟
		選手	13-2	中村 真緒	ナカムラ マオ	青山学院大学
	少年男子	監督		有枝 樹雄	アリエダ ツツオ	東京都山岳連盟
		選手	13-1	山口 龍磨	ヤマグチ タツマ	東京都山岳連盟
		選手	13-2	小川 智士	オカワ サトシ	東京都山岳連盟
	少年女子	監督		篠崎 喜信	シノザキ ヨシノブ	東京都山岳連盟
		選手	13-1	菊地 咲希	キクチ サキ	東京都立世田谷総合高等学校
		選手	13-2	柿崎 未羽	カキザキ ミウ	東村山市立第六中学校
神奈川県	成年女子	監督		山下 眞一	ヤマシタ シンイチ	県立麻溝台高等学校(教)
		選手	14-1	岩崎 賀央	イワサキ カオ	日本大学
		選手	14-2	渡辺 茜	ワタナベ アカネ	横浜国立大学
	少年男子	監督		島田 邦昭	シマダ クニアキ	リテールシステムサービス(株)
		選手	14-1	小西 桂	コニシ カツラ	慶應義塾高等学校
		選手	14-2	伊藤 寛太郎	イトウ カンタロウ	横浜商業高等学校
	少年女子	監督		森本 穰	モリモト ユタカ	県立海老名高等学校(教)
		選手	14-1	菅原 亜弥	スカワラ アヤ	県立多摩高等学校
		選手	14-2	松藤 藍夢	マツフジ アン	横浜市立早淵中学校
山梨県	成年女子	監督		山森 政之	ヤマモリ マサユキ	株式会社クラッグボーイズ
		選手	15-1	戸田 萌希	トダ ホマレ	山梨県山岳連盟
		選手	15-2	安田 あとり	ヤスタ アトリ	株式会社早野組
	少年男子	監督		田中 孝治	タナカ コウジ	クライミングジム 天
		選手	15-1	田中 涼	タナカ リョウ	山梨県立甲府城西高等学校
		選手	15-2	小林 信哉	コバヤシ シンヤ	山梨県立巨摩高等学校
	少年女子	監督		中島 陽子	ナカジマ ヨウコ	医療法人社団和会水原口内科・腎クリニック
		選手	15-1	宮下 涼	ミヤシタ スズ	山梨県立富士河口湖高等学校
		選手	15-2	高山 未聖	タカヤマ ミサ	山梨県山岳連盟

山岳競技 会場配置図 1階



山岳競技 会場配置図 2階

